令和3年度　科目ナンバリング分類表（学部の言語教育科目および大学院の専攻共通科目[言語教育科目系]）

大分類　LA　言語教育科目 ／ 学士課程　4年 ／ 3

大分類　LA　専攻共通科目の言語教育科目系 ／ 修士課程　2年 ／ 3

大分類　LA　専攻共通科目の言語教育科目系 ／ 博士課程　3年 ／ 3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 英語	1. インターアクション重視	Interactive English A【1】	Interactive English B【1】							Presentation Strategies【2】	Presentation Strategies【2】				
										Business Communication【1】	Media English:Listening, Reading and Discussion【2】				
											Presentation English :Listening, Reading and Discussion【1】				
	2. インプット重視		Academic English【2】							Acamedic Reading【2】	Acamedic Reading【2】				学術英語研究【1】
										書くための英文法総仕上げ【2】	Technical English【1】				
	3. 外部試験対応	Career English Basic【2】	Career English Basic【2】	Career English Intermediate【2】	Career English Intermediate【2】					TOEIC受験集中対策【2】	TOEIC受験集中対策【2】				
				Career English Advanced【2】	Career English Advanced【2】										
	4. 実践・応用			Active English CLIL【1】	Active English CLIL【1】						Content and Language Integrated Learning Ⅰ【1】				
				Active English Listening & Speaking Ⅰ【2】	Active English Listening & Speaking Ⅰ【2】					English for International Conferences【2】	Content and Language Integrated Learning Ⅱ【1】				
				Active English Listening & Speaking Ⅱ【2】	Active English Listening & Speaking Ⅱ【2】						Content and Language Integrated Learning Ⅲ【1】				
				Active English Reading Ⅰ【2】	Active English Reading Ⅰ【2】					Academic Writing【2】	Academic Writing【2】				
				Active English Reading Ⅱ【2】	Active English Reading Ⅱ【2】										
				Active English Writing Ⅰ【2】	Active English Writing Ⅰ【2】										
				Active English Writing Ⅱ【2】	Active English Writing Ⅱ【2】										
				Active Engkish Project−Based Learning【2】	Active Engkish Project−Based Learning【2】										
2. ドイツ語		ドイツ語初級基礎A【4】	ドイツ語初級基礎B【4】	ドイツ語中級A【4】	ドイツ語中級B【4】										
		ドイツ語初級演習A【4】	ドイツ語初級演習B【4】	ドイツ語上級A【4】	ドイツ語上級B【4】										
3. フランス語		フランス語初級基礎A【4】	フランス語初級基礎B【4】	フランス語中級A【4】	フランス語中級B【4】										
		フランス語初級演習A【4】	フランス語初級演習B【4】	フランス語上級A【4】	フランス語上級B【4】										
4. 中国語		中国語初級基礎A【4】	中国語初級基礎B【4】	中国語中級A【4】	中国語中級B【4】										
		中国語初級演習A【4】	中国語初級演習B【4】												
9. 日本語		日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語Ⅰ【2】	日本語Ⅱ【2】							日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】
		日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語Ⅲ【2】	日本語Ⅳ【2】							日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】
		日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語Ⅴ【2】	日本語Ⅵ【2】							日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】
		日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語Ⅶ【2】	日本語Ⅷ【2】							日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】
		日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】									日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】	日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】
		日本事情Ⅰ【2】	日本事情Ⅱ【2】									日本語初級Ⅰ【2】	日本語初級Ⅱ【2】	日本語初級Ⅰ【2】	日本語初級Ⅱ【2】

留意事項1.　学部の日本語コミュニケーションⅠ～Ⅹについては、補習科目である。
　　　　2.　下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（学部の人間教養科目および大学院の専攻共通科目）

大分類　LI 人間教養科目　　学士課程　4年　（3 ×）

大分類　LI 専攻共通科目の人文系・高等教養セミナー、自然科学、KIT大学院科目など　　修士課程　2年　（3 ×）

大分類　LI 専攻共通科目　　博士課程　3年　（3）

中分類名称コード	小分類名称コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 工芸科学教養科目	1. 工芸科学入門	工芸科学基礎【0】	KITスタンダード【0】												
		キャリア教育基礎【0】	学習・キャリア戦略論【0】												
		国際理解【0】													
		人権教育【0】													
	2. 科学技術と環境・倫理	地球環境論【0】	環境と法【0】	環境マネジメント【0】											
		環境問題と持続可能な社会【0】	情報セキュリティと情報倫理【0】												
		生命倫理と環境倫理【0】	テクノロジー論【0】												
		現代科学と倫理【0】													
		エネルギー科学【0】													
	3. ものづくりと技術戦略	ものづくりと生命物質科学【0】	ものづくりと生命物質科学【0】							ジェロントロジー入門（超高齢社会のユニバーサルデザイン)【0】		IGP知的財産権論【1】	プロジェクト・マネジメント【1】	IGP知的財産権特論【1】	プロジェクト・マネジメント特論【1】
		ものづくりと設計工学【0】	ものづくりと設計工学【0】									ICT活用産業創出論【1】	実践プロセスデザインⅡ【0】	ICT活用産業創出特論【1】	
		ものづくりとデザイン科学【0】	ものづくりとデザイン科学【0】									実践プロセスデザインⅠ【0】			
			ものづくり加工実習【0】												
	4. リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ【0】	リーダーシップ基礎Ⅱ【0】	国際連携プロジェクトⅠ【0】	ベンチャー企業経営学【0】					テックリーダー演習Ⅰ：起業工学【0】					
		知的財産経営論【0】	SDGsをまなぶ【0】	国際連携プロジェクトⅡ【0】						テックリーダー演習Ⅱ【0】					
		リーダーシップ実践Ⅰ【0】	地域連携プロジェクト【0】												
		リーダーシップ実践Ⅱ【0】													
	5. 京の伝統文化と先端	文化財学【0】	京の意匠【0】	京の伝統工芸ー技と美【0】	京のまち【0】					京の伝統工芸ー知　美　技（課題解決セミナー1)【0】					
		文化芸術都市としての京都【0】	京の知恵　伝統産業の先進的ものづくり【0】	京の伝統工芸ー知と美【2】	英語で京都【0】										
		京の産業技術史【0】	京都の農林業【0】												
		京の生活文化史【0】	京の生活文化史【0】												
		京都の文学Ⅰ【0】	京都の文学Ⅱ【0】												
		京都の歴史Ⅰ【0】	京都の歴史Ⅱ【0】												
		現代京都論【0】	宗教と文化【0】												
		京都の自然【0】	京都の経済【0】												
		近代京都と三大学【0】	京都の防災と府民【0】												
			資料で親しむ京都学(ﾘﾍﾞﾗﾙｱｰﾂ･ｾﾞﾐﾅｰﾙ)【0】												
			京都の文化と文化財【0】												
2. 基本教養科目	1. 社会科学の基礎	社会学Ⅰ【0】	社会学Ⅱ【0】												
		法学【0】	政治学【0】												
		経済学【0】	経済学入門【0】												
		国際政治【0】	憲法【0】												
	2. 人間と社会	心理学【0】	生活と経済【0】							高等教養セミナー1【2】	高等教養セミナー3【2】				
		現代教育論【0】	現代社会と心【0】							高等教養セミナー2【2】	高等教養セミナー5【2】				
		現代社会とジェンダー【0】	観光学α【0】							高等教養セミナー4【2】	高等教養セミナー6【2】				
		認知心理学【0】	現代正義論(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】												
		発達心理学【0】	医療と社会【0】												
		現代医療の人間観【0】													
	3. 人間と歴史	日本史【0】	東西文化交流史【0】												
		アジアの歴史と文化【0】	歴史学【0】												
			ヨーロッパの歴史と文化【0】												
	4. 文化・芸術	美と芸術【0】	哲学【0】	舞台芸術論【0】						制作思想【2】	比較文学特論【0】			言語文化情報学【0】	現代思想論【2】
		比較宗教学【0】	宗教と文化【0】							宗教文化論【2】	高等教養セミナー7【0】				
		西洋文学論【0】	西洋文化論【0】							高等教養セミナー9【0】	高等教養セミナー8【0】				
		日本近代精神史【0】	日本近現代文学【0】							高等教養セミナー13【0】	高等教養セミナー10【0】				
		フランス語圏の文化とジャポニスム【0】	ラテン語【0】							高等教養セミナー15【0】	高等教養セミナー11【0】				
		映画で学ぶ英語と文化【0】	文芸創作論【0】							高等教養セミナー14【0】	高等教養セミナー12【0】				
			映画で学ぶドイツ語と文化【0】								高等教養講義【0】				
	5. 自然科学の基礎	物理学Ⅰ【0】	化学概論Ⅱ【0】												
		化学概論Ⅰ【0】	生物学概論Ⅱ【0】												
		生物学概論Ⅰ【0】	地球の科学【0】												
		生命科学講話【0】	医学概論【0】												
	6. 人間と自然・科学	人と自然と数学α【0】	人と自然と数学β【0】	時間生物学特論【0】											
		食と健康の科学【0】	人と自然と物理学【0】												
		生物学的人間学【0】	科学史【0】												
		医療人類学【0】	意外と知らない植物の世界【0】												
		キャンパスヘルス概論【0】	生体行動科学【0】												
		健康体力科学【0】													
	7. リベラルアーツ・ゼミナール	現代社会に学ぶ問う力・書く力(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】	社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】												
		レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】	世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】												
		感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】	製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】												
		現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】	経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナール)【0】												
3. 体の科学		スポーツ科学Ⅰ【0】	スポーツ科学Ⅱ【0】			(生体機能論)	(運動機能学)	(卒業研究(応生))				生体行動科学特論【2】	バイオメカニクス特論【2】		応用運動生理学【2】
				生涯スポーツ【0】	生涯スポーツ【0】	(スポーツバイオメカニクス)									

留意事項1.　下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

2.　括弧書きの科目は他課程専門科目あるいは専門基礎科目であり、それぞれAB(応用生物学課程専門科目の大分類コード)またはSB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングのいずれかが適用される。

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（応用生物学課程，応用生物学専攻，バイオテクノロジー専攻分）

大分類　AB　応用生物学課程　　　大分類　AB　応用生物学専攻　　　大分類　BT　バイオテクノロジー専攻

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
		学士課程　4年								修士課程　2年				博士課程　3年	
		3						× 3						× 3	
1. 応用生物学　実験／実習	1. 演習	専門導入ゼミ【0】		(情報処理演習 md)		(学術国際情報 mf)	基礎研究・演習【0】	卒業研究【0】				特別研究【2】		研究指導【2】	
		地域課題導入セミナー【0】				地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】				応用生物学特別実験及び演習Ⅰ【0】		バイオテクノロジー特別演習Ⅰ【0】	
						ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】					応用生物学特別実験及び演習Ⅱ【0】		バイオテクノロジー特別演習Ⅱ【0】	
						ものづくりインターンシップⅢ【0】						応用生物学インターンシップⅠ【0】		バイオテクノロジーインターンシップⅠ【0】	
												応用生物学インターンシップⅡ【0】		バイオテクノロジーインターンシップⅡ【0】	
													国際インターンシップ【2】		
	2. 実験／実習			自然観察学【0】	生物機能学・分子生物学実験Ⅰ【0】	生物機能学・分子生物学実験Ⅱ【0】						国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】	
				生物生産学実習【0】								国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
				(生物学基礎実験A)								遺伝資源実習及び演習【0】	昆虫バイオメディカル特別実験及び演習【0】		
				(化学基礎実験 me)											
2. 応用生物学　専門コア科目	1. 生物学／機能系			細胞生物学【0】	動物生理学【0】	植物生理学【0】									
				微生物学【0】	遺伝学【0】	昆虫生理学【0】									
				生物統計学【0】		集団の遺伝学【0】									
	2. 生化学／分子系			生物化学Ⅰ【0】	生物化学Ⅱ【0】	昆虫工学【0】									
					分子生物学【0】	発生生物学【0】									
					生態分子化学【0】										
3. 応用生物学　専門アドバンス科目	1生物学／機能系			資源昆虫生産学実験実習【0】	生物基礎英語演習【2】	神経科学【0】	運動機能学【0】			バイオテクノロジー概論Ⅰ【0】		細胞機能学特論【2】	資源昆虫学特論【2】	昆虫バイオメディカル【2】	ゲノム・エピゲノム制御学【2】
					昆虫機能開発学【0】	細胞組織学【0】						生体機能学特論【2】	昆虫生理機能学特論【2】	生命分子構造機能学【2】	生体機能制御学【2】
					栽培環境学【0】	バイオインフォマティクス演習【0】						進化ゲノム学特論【2】	資源植物学特論【2】		環境・生態学【2】
												応用ゲノミクス特論【2】	バイオメディカル学特論【2】		
	2. 生化学／分子系				微生物工学【0】	細胞工学【0】					バイオテクノロジー概論Ⅱ【0】	生体分子機能学特論【2】	食品バイオテクノロジー特論【2】		
						植物機能科学【0】						構造生物工学特論【2】	染色体工学特論【2】		
						モデル生物学【0】						微生物工学特論【2】	植物分子工学特論【2】		
													昆虫工学特論【2】		
												疾患モデル昆虫学特論【0】	応用昆虫ウイルス学特論【0】		
												ヘルスサイエンス学特論Ⅰ【0】	ヘルスサイエンス学特論Ⅱ【0】		
(参考) 学域共通　専門基礎科目	生命物質化学域　共通科目			(生物学I ma)	(生物学II ma/mb)	(地学実験)									
				(化学I mc)	(化学II mc)	(インターンシップA)									
				(物理学Ⅰ)	(分析化学 ma)	(インターンシップB)									
				(基礎解析I md)	(物理学Ⅱ)										
				(線形代数学I mc)	(基礎解析II md)										
					(線形代数学II mc)										
					(資源生物と環境)										
				(有機化学I md)	(有機化学II md)										
				(無機化学Ⅰ)	(物理化学II md)										
				(物理化学I md)	(解析学II)										
				(物理学基礎実験)	(物理学基礎実験)										
				(解析学I)											

留意事項1.　括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。
2.　下線を付した科目については他課程教員が担当しているものである。
3.　網掛けの科目については大学院の特別教育プログラム科目である。

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（学部の学域専門基礎科目および大学院の専攻共通科目[数学系、繊維系]）

大分類　SB　専門導入科目・学域専門基礎科目　　学士課程　4年　（3）
×
大分類　SB　専攻共通科目の数学系・自然科学系・インターンシップ系・KIT大学院科目　　修士課程　2年　（3）
×
大分類　SB　専攻共通科目　　博士課程　3年　（3）

中分類名称コード	小分類名称コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 数学	1. 代数学			線形代数学Ⅰ【0】	線形代数学Ⅱ【0】				数理応用代数【0】	代数学セミナー【0】	数理応用代数【0】				
	2. 幾何学						応用幾何【0】		数理応用幾何【0】	幾何学セミナー【2】	数理応用幾何【0】				
	3. 解析学			基礎解析Ⅰ【0】 解析学Ⅰ【0】	基礎解析Ⅱ【0】 解析学Ⅱ【0】	応用解析【0】 応用数理【0】	数理解析【0】		数理応用解析【0】	解析学セミナー【0】	数理応用解析【0】				
	4. 統計数学			統計数理【0】					データサイエンスの数理【0】	確率論セミナー【2】	データサイエンスの数理【0】				
	5. 分野横断型科目			数学演習Ⅰ【0】	数学演習Ⅱ【0】			数理応用演習【0】		数理応用演習【0】 数理科学特論Ⅰ【0】 数理科学特論Ⅱ【0】 数理科学特論Ⅲ【0】				数理解析学【2】 応用解析学【2】	
2. 物理学	1. 力学			物理学Ⅰ【0】 物理学Ⅰ演習【0】	力学【0】										
	2. 電磁気学				物理学Ⅱ【0】 物理学Ⅱ演習【0】										
	3. 統計熱力学					統計熱力学【0】									
	4. 量子力学						量子力学【0】								
	5. 実験・実習			物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験【0】	物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験【0】										
3. 化学				化学Ⅰ【0】 物理化学Ⅰ【0】 無機化学Ⅰ【0】 有機化学Ⅰ【0】 化学基礎実験【0】 物理化学演習【0】	化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅲ【0】 有機化学Ⅱ【0】 化学基礎実験【0】 分析化学【0】 高分子化学【0】		環境化学【0】 化学工学Ⅰ【0】						環境化学特論【2】		
4. 生物学				生物学Ⅰ【0】 生物化学Ⅰ【0】 生物学基礎実験A【0】	生物学Ⅱ【0】 生物化学Ⅱ【0】 資源生物と環境【0】										
5. 情報				情報・データリテラシー概論【0】	情報処理演習【0】	学術国際情報【0】	先端情報工学概論【0】			人工知能（機械学習）応用論【0】 IoTシステム構成論【0】 産業応用システム論Ⅰ（RFIDシステム）【0】 産業応用システム論Ⅱ（スマート・モビリティー）【0】 産業応用システム論Ⅲ（システム製品開発概論）【0】					
6. 繊維系				繊維科学基礎【0】		繊維プロセス工学【0】 クロウジングサイエンス【0】 繊維科学実験【0】 複合材料ものづくり実験【0】 サスティナブルマテリアル【0】 染色科学【0】	繊維ナノ構造学【0】 繊維生産流通システム概論【0】 繊維科学概論【0】 複合材料科学【0】 生物繊維材料学【0】 先端複合材料学【0】 複合材料基礎実験【0】					繊維系合同演習【0】 アカデミックインターンシップⅠ(国内)【0】 アカデミックインターンシップⅡ(国内)【0】 アカデミックインターンシップ(海外)【0】 繊維・ファイバー工学特論Ⅰ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅱ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅲ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅳ【1】	繊維系資格概論【0】 繊維基礎科学【0】		
7. 知的財産				アントレプレナーシップ概論【0】 知的財産概論Ⅰ【0】 特許法・実用新案法Ⅰ【0】 民法概論Ⅰ【0】	知的財産概論Ⅱ【0】 特許法・実用新案法Ⅱ【0】 民法概論Ⅱ【0】		知的財産演習【0】								
0. その他				絵画実習【0】	新先端ファイブロ科学【0】	インターンシップA【0】 インターンシップB【0】 地学Ⅰ【0】 地学Ⅱ【0】 地学実験【0】 生体機能論【0】 スポーツバイオメカニクス【0】				ビジネスエンジニアリング論【0】 マテリアルズイノベーション論【0】		インターンシップⅠ【0】 インターンシップⅡ【0】 グローバルインターンシップⅠ【1】 グローバルインターンシップⅡ【1】 HDSMSインターンシップ【1】 グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】 国際協働プロジェクト【2】 デザインリサーチ論【2】 産学協働プロジェクトⅠ【2】	dCEPセッション(M)Ⅰ【2】 dCEPセッション(M)Ⅱ【2】 dCEPセッション(M)Ⅲ【2】 dCEPセッション(M)Ⅳ【2】 グローバルイノベーションプログラムⅠ【2】 プロトタイピング論【2】 産学協働プロジェクトⅡ【2】	視知覚理論【2】 dCEPセッション(D)Ⅰ【2】 dCEPセッション(D)Ⅱ【2】 dCEPセッション(D)Ⅲ【2】 dCEPセッション(D)Ⅳ【2】 ビジネスエンジニアリング特論【0】 マテリアルズイノベーション特論【0】 リーガルデザイン論【2】 ビジネスデザイン論【2】 HDSMSインターンシップアドバンス【1】	

留意事項1.　下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
2.　網掛けを付した科目については、大学院と学部同時に開講しているもの。
3.　すべての課程・専攻に配当されている科目についてまとめたものであるため、所属する課程・専攻によって履修できない科目もある。
履修可能かどうかは、教科課程表の履修区分を参照のこと。

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表 （応用化学課程, 物質合成化学専攻、機能性物質化学、材料創製化学専攻、材料制御化学専攻分、物質・材料化学専攻）

大分類　AP　応用化学課程 ／ 学士課程　4年 ／ 3

大分類　IM　材料創製化学, MC　材料制御化学専攻, MS　物質合成化学専攻, FC　機能物質化学専攻 ／ 修士課程　2年 ／ × 3

大分類　MC　物質・材料化学専攻 ／ 博士課程　3年 ／ × 3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000
1. 実習系	1. 実験			応用化学実験Ｉ【0】 応用化学実験Ⅱ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップＩ【0】 ものづくりインターンシップⅢ【0】	卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		材料創製化学特別実験及び演習Ｉ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅱ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅲ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅳ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習ＩD(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習ⅡD(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習ⅢD(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習ⅣD(IM)【0】 材料創製化学インターンシップＩ(IM)【0】 材料創製化学インターンシップⅡ(IM)【0】 Internship/Professional training(IM,MC)【1】 国際インターンシップ(IM)【2】 特別研究(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ｉ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(IM)【2】 材料制御化学特別実験及び演習ＩD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習ⅡD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習ⅢD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習ⅣD(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習Ｉ(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習Ⅱ(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習Ⅲ(MC)【0】 材料制御化学特別実験及び演習Ⅳ(MC)【0】 材料制御化学インターンシップＩ(MC)【0】 材料制御化学インターンシップⅡ(MC)【0】 国際インターンシップ(MC)【2】 特別研究(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ｉ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(MC)【2】 物質合成化学特別実験及び演習Ｉ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅱ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅲ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅳ(MS)【0】 物質合成化学インターンシップＩ(MS)【0】 物質合成化学インターンシップⅡ(MS)【0】 国際インターンシップ(MS)【2】 特別研究(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ｉ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(MS)【2】 機能物質化学特別実験及び演習Ｉ(FC)【0】 機能物質化学特別実験及び演習Ⅱ(FC)【0】 機能物質化学特別実験及び演習Ⅲ(FC)【0】 機能物質化学特別実験及び演習Ⅳ(FC)【0】 機能物質化学インターンシップＩ(FC)【0】 機能物質化学インターンシップⅡ(FC)【0】 国際インターンシップ(FC)【2】 特別研究(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ｉ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(FC)【2】	物質・材料化学特別演習Ｉ【0】 物質・材料化学特別演習Ⅱ【0】 物質・材料化学インターンシップＩ【0】 物質・材料化学インターンシップⅡ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ｉ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】
	2. 実験基礎		実験解析【0】					
	3.セミナー	地域課題導入セミナー【0】 応用化学序論Ｉ【0】	応用化学序論Ⅱ【0】	地域創生課題セミナーⅡ【0】 地域創生課題セミナーＩ【0】 コースゼミ【0】			材料創製化学セミナーＩ(IM)【2】 材料創製化学セミナーⅢ(IM)【0】 材料創製化学セミナーⅡ(IM)【0】 材料制御化学セミナーＩ(MC)【2】 材料制御化学セミナーⅢ(MC)【0】 材料制御化学セミナーⅡ(MC)【0】 物質合成化学セミナーＩ(MS)【2】 物質合成化学セミナーⅢ(MS)【0】 物質合成化学セミナーⅡ(MS)【0】 機能物質化学セミナーＩ(FC)【2】 機能物質化学セミナーⅢ(FC)【0】 機能物質化学セミナーⅡ(FC)【0】	ビジネスエンジニアリング特論【0】 マテリアルズイノベーション特論【0】 コンソーシアムプロジェクト【0】
2. 物理系	1. 物性基礎			統計物理学【0】 シミュレーション物理学【0】 振動・波動【0】		熱・統計物理学(MC)【2】		光エネルギー物質科学【2】
3. 物理化学系	1. 熱力学・反応速度			固体熱力学【0】		素反応速度論(IM)【2】		制御分子構造学【2】
	2. 量子物理化学			分子量子化学【0】		有機・高分子光物性工学(IM)【2】 原子分子物理化学(MC)【2】 分子機能設計(IM)【2】 分子構造化学(FC)【2】	Physical chemistry of dispersed systems(IM,MC)【1】	電子機能高分子創成学【2】 光機能高分子創成学【2】
4. 無機・分析化学系	1. 無機化学・固体化学		無機化学Ⅱ【0】 無機化学演習【0】	固体物性論【0】		応用固体化学(IM)【2】 無機材料物性学(IM)【2】 無機材料計算化学(MC)【2】		ナノ構造物質学【2】
	2. 無機材料化学			金属材料学【0】 材料工学特論【0】 無機材料化学Ｉ【0】 無機材料化学Ⅱ【0】		ｶﾞﾗｽ・ｱﾓﾙﾌｧｽ材料科学(IM)【2】 無機構造材料科学(MC)【2】	Metal forming technologies(IM,MC)【1】 Materials for mechanical industries(IM,MC)【1】	ナノ物質加工学【2】
	3. 分析化学		応用分析化学【0】	有機機器分析【0】 材料機器分析概論【0】		分離分析化学(FC)【2】 分離媒体設計論(MS)【2】		分離機能材料学【2】
5. 有機化学系	1. 有機反応化学		有機化学演習【0】	精密合成化学【0】 有機反応化学【0】 有機化学Ⅲ【0】 有機化学Ⅳ【0】		有機ヘテロ原子化学(MS)【2】 有機反応制御化学(MS)【2】		立体機能物質化学【2】 精密物質合成学【2】
	2. 有機材料化学			有機材料設計【0】 精密材料化学【0】		有機分子材料化学(MS)【2】 バイオミメティック合成化学(MS)【2】 有機精密材料学(MS)【2】	Technology of Polymeric Materials(IM,MC)【1】	精密重合高分子【2】
6. 高分子材料系	1. 高分子合成			高分子材料化学【0】		高分子合成化学特論(MS)【2】 高分子物質設計論(MS)【2】	Science and Technology of Functional Materials (IM,MC)【1】 Science and Technology of Composite Materials (IM,MC)【1】	ソフトマテリアル創成学【2】
	2. 高分子構造			高分子レオロジー【0】 高分子構造学【0】		階層構造形成論(MC)【2】 機能高分子材料(IM)【2】 高分子構造・力学(MC)【2】		繊維性高分子材料組織学【2】
	3. 高分子物性		高分子物性【0】	液晶・高分子物性【0】 ナノ材料物理化学【0】 高分子分子物性【0】		光電子材料化学(IM)【2】 ナノ材料物性(IM, MC)【2】 高分子物性論(MC)【2】	Materials and Characterization for Micro and Nanotechnologies(IM,MC)【1】	高分子形態制御学【2】 高分子機能物性学【2】
7. 生体・環境化学系	1. 生体関連化学		生化学Ｉ【0】	生化学Ⅱ【0】 生化学Ⅲ【0】 機能分子科学Ｉ【0】 機能分子科学Ⅱ【0】 生体分子工学【0】		生体反応機構論(FC)【2】 生体制御分子設計(FC)【2】 高分子生化学機能(FC)【2】 タンパク質機能構造(FC)【2】		生体分子機能化学【2】 生体分子機構解析学【2】
	2. 天然物質・繊維系			ファイバーサイエンス【0】		繊維システム論(MC)【2】	天然高分子材料(FC)【2】 応用バイオ繊維科学(IM, FC)【2】	生体分子設計学【2】
	3. 環境・化学工学			化学工学Ⅱ【0】 生物化学工学【0】 技術者倫理【0】 環境と高分子【0】		化学工学特論(MS,FC)【2】	バイオベースポリマー(MC,MS,FC)【2】 High-performance fibers for composites, sportswear and protection(IM,MC)【1】	環境物質化学【2】

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表 （電子システム工学課程，電子システム工学専攻）

		大分類　EL　電子システム工学課程								大分類　EL　電子システム工学専攻				大分類　EL　電子システム工学専攻	
		学士課程　4年								修士課程　2年				博士課程　3年	
		3						×		3			×	3	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 総合科目	1. 実験・実習・セミナー	電子システム工学セミナーI【0】	電子システム工学セミナーIII【0】		電子システム工学基礎実験【0】	電子システム工学実験及び設計I【0】	電子システム工学実験及び設計II【0】					電子システム工学インターンシップI【0】		グローバルインターンシップIII【2】	
		電子システム工学セミナーII【0】				地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】					電子システム工学インターンシップII【0】		グローバルインターンシップIV【2】	
		地域課題導入セミナー【0】				ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】					特別課題実験及び演習I【0】		電子システム工学インターンシップIII【0】	
						ものづくりインターンシップⅢ【0】						特別課題実験及び演習II【0】		電子システム工学インターンシップIV【0】	
												電子システム工学特別実験及び演習I【0】		電子システム工学特別演習I【0】	
												I電子システム工学特別実験及び演習Ⅱ【0】		電子システム工学特別演習II【0】	
													国際インターンシップ【2】	イノベーションプロジェクト【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
	2. 講義									電子システムデザイン【2】	技術開発史【0】				
	3. 研究							卒業研究【0】				特別研究【2】		研究指導【2】	
								卒業プロジェクト【0】							
2. 材料物性・デバイス	1. 材料物性			電子物性基礎論【0】		電子材料工学【0】				ナノ構造工学【2】	電子物性特論【2】			電子物性論【2】	ナノ構造論【2】
										電子系の統計物理【2】	ナノ構造科学【2】				光材料工学【2】
											知能性材料システム工学【2】				電子材料論【2】
	2. デバイス					電子デバイス【0】	集積化プロセス・デバイス工学【0】			マイクロデバイス工学【2】	電子デバイス特論【2】			電子デバイス論【2】	パワー半導体デバイス論【2】
						センサ工学【0】				半導体薄膜工学【2】	エネルギー変換デバイス【2】			半導体プロセス技術【2】	機能性薄膜応用デバイス工学【2】
3. 電磁気エネルギー	1. 数学				電子システム数理基礎論【0】										
	2. 電磁気・電磁波			電磁気学および演習ⅠA【0】	電磁気学および演習ⅡA【0】	電磁気学III【0】	電磁波工学【0】			電磁波工学特論A【2】	電磁波工学特論B【2】				電磁機能構造設計理論【2】
				電磁気学および演習ⅠB【0】	電磁気学および演習ⅡB【0】										
	3. 光エレクトロニクス				光学基礎【0】	フォトニクスI【0】	フォトニクスII【0】			光電子デバイス工学【2】	光波工学【2】			情報光学【2】	集積フォトニクス【2】
										応用光学【2】	量子光学【2】				
	4. エネルギー						プラズマ工学【0】			プラズマ解析学【2】				プラズマ物性工学【2】	プラズマ計測技術【2】
							電気エネルギー工学【0】							電磁エネルギー科学【2】	
4. 通信・制御	1. 信号処理・通信				ディジタル信号処理【0】		通信システム工学【0】				通信工学特論【2】			通信信号処理【2】	情報伝送論【2】
	2. 制御					制御工学【0】									
						システム最適化【0】									
5. 回路	1. 電気回路			電気回路【0】	回路解析【0】	高周波回路【0】									
				電気回路演習【0】	回路解析演習【0】										
	2. 電子回路			論理設計【0】	ディジタル電子回路【0】	アナログ電子回路【0】	集積回路工学【0】			集積回路工学特論【2】				集積システム工学【2】	
						電子回路演習【0】									
6. 情報	1. 計算機・ネットワーク					情報ネットワーク【0】	コンピュータシステム【0】							エネルギーインターネット設計論【2】	
	2. プログラミング			情報・データリテラシー【0】		AI・データサイエンス基礎【0】	計算モデル論【0】								
				プログラミング演習【0】											

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度 科目ナンバリング分類表 （情報工学課程，情報工学専攻，設計工学専攻）

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
		大分類 IS 情報工学課程								大分類 IS 情報工学専攻				大分類 ED 設計工学専攻	
		学士課程 4年								修士課程 2年				博士課程 3年	
		3						× 3						× 3	
1. 情報工学基礎・実習	1. プロジェクト実習・実験	情報工学セミナー【0】			プロジェクト実習Ⅰ【0】	プロジェクト実習Ⅱ【0】	プロジェクト実習Ⅲ【0】	卒業研究【0】		フィジカルインタラクションデザイン【2】		情報工学特別実験及び演習Ⅰ【0】	情報工学特別実験及び演習Ⅱ【0】	設計工学特別演習Ⅰ【0】	
		地域課題導入セミナー【0】				地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】				情報工学特別実験及び演習Ⅲ【0】	情報工学特別実験及び演臭Ⅳ【0】	設計工学特別演習Ⅱ【0】	
						ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】						ソーシャルインタラクションデザイン【0】	研究指導【2】	
						ものづくりインターンシップⅢ【0】						特別研究【0】			
												特別課題実験及び演習Ⅰ【0】	特別課題実験及び演習Ⅱ【0】		
												特別課題実験及び演習Ⅲ【0】	特別課題実験及び演習Ⅳ【0】		
												情報工学インターンシップⅠ【0】		設計工学インターンシップⅠ【0】	
												情報工学インターンシップⅡ【0】		設計工学インターンシップⅡ【0】	
												国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
													国際インターンシップ【2】		
												グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】	グローバルイノベーションプログラムⅠ【2】		
	2. プログラミング・アルゴリズム	情報工学概論【0】		プログラミングⅡ【0】	プログラミングⅠ【0】	システム最適化【0】	言語処理プログラミング【0】					システム設計特論【2】			
				ソフトウェア演習Ⅱ【0】	データ構造とアルゴリズム【0】	ネットワークプログラミング【0】									
					ソフトウェア演習Ⅰ【0】										
					情報システムプログラミング【0】										
					離散数学【0】										
	3. 情報リテラシー		（情報セキュリティと情報倫理）	（情報・データリテラシー概論）	（テクノロジー論）										
2. ハードウェア	1. 電気・電子回路				エレクトロニクス【0】										
					ディジタル電子回路【0】										
	2. コンピュータアーキテクチャ			論理設計【0】	コンピュータシステム【0】					コンピュータシステム特論【2】				情報基盤工学【2】	
3. ソフトウェア	1. ソフトウェア開発			ソフトウェア工学【0】	組み込みシステム設計論【0】						ソフトウェアメトリクス論【2】		ソフトウェアマイニング分析論【2】	情報システム開発方法論【2】	
	2. ソフトウェア基礎					コンパイラ【0】	オペレーティングシステム【0】			形式言語理論【2】			オペレーティングシステム特論【2】		
						データベース【0】	プログラミング言語論【0】			形式的意味論【2】			ビックデータ管理論【2】		
	3. メディアインタラクション				ヒューマンインタフェース【0】	AI・データサイエンス基礎【0】	AI・データサイエンス応用【0】			認知的インタラクションデザイン学【0】	人間情報環境特論【2】	認知科学特論【2】			情報行動論【2】
							メディア工学【0】			機械学習特論【2】	マルチメディア効果論【2】	データサイエンス特論【2】			
4. 通信・システム	1. 情報・ネットワーク			情報理論【0】	情報セキュリティ【0】	情報ネットワーク【0】					情報ネットワーク特論【2】	情報伝送システム論【2】		情報数学特論【2】	
	2. システム・制御				システム論【0】						ダイナミカルシステム論【2】				
					制御工学【0】										
	3. 信号処理			ディジタル信号処理【0】		画像工学【0】				IoTプロセシング特論【2】			コンピュータビジョン【2】		応用情報工学【2】

留意事項・括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

- 0：日本語で行う授業
- 1：英語で行う授業
- 2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
- 3：英語以外の外国語で行う授業
- 4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（機械工学課程，機械物理学専攻，機械設計学専攻，設計工学専攻分）

大分類　ME　機械工学課程 ／ 学士課程　4年 ／ 3 × 3

大分類　MP　機械物理学専攻，MD　機械設計学専攻 ／ 修士課程　2年 ／ × 3

大分類　ED　設計工学専攻 ／ 博士課程　3年 ／ 3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 研究系	1. 研究系	地域課題導入セミナー【0】				地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業研究【0】			プロジェクトマネジメント論(MP)【0】	機械物理学特別実験及び演習Ⅰ(MP)【0】	機械物理学特別実験及び演習Ⅱ(MP)【0】	設計工学特別演習Ⅰ【0】	
						ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】		卒業論文【0】			機械物理学特別実験及び演習Ⅲ(MP)【0】	機械物理学特別実験及び演習Ⅳ(MP)【0】	設計工学特別演習Ⅱ【0】	
						ものづくりインターンシップⅢ【0】		卒業プロジェクト【0】				機械設計学特別実験及び演習Ⅰ(MD)【0】	機械設計学特別実験及び演習Ⅱ(MD)【0】	研究指導【2】	
												機械設計学特別実験及び演習Ⅲ(MD)【0】	機械設計学特別実験及び演習Ⅳ(MD)【0】		
												特別課題実験及び演習Ⅰ(MP,MD)【0】	特別課題実験及び演習Ⅱ(MP,MD)【0】		
												特別課題実験及び演習Ⅲ(MP,MD)【0】	特別課題実験及び演習Ⅳ(MP,MD)【0】		
												特別研究 (MP,MD)【2】			
												国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
													国際インターンシップ【2】		
	2. 機械工学リテラシー	エンジニアのためのリテラシー【0】								Technical Writing & Communication(MP)【2】	Technical Writing & Communication(MD)【2】				
2. 機械設計・実験・シミュレーション系	1. 実験系					機械工学実験Ⅰ【0】	機械工学実験Ⅱ【0】			機械物理学基礎演習Ⅰ(MP)【2】	機械物理学基礎演習Ⅱ(MP)【2】	機械物理学インターンシップⅠ(MP)【0】		設計工学インターンシップⅠ【0】	
										機械設計学基礎演習Ⅰ(MD)【2】	機械設計学基礎演習Ⅱ(MD)【2】	機械物理学インターンシップⅡ(MP)【0】		設計工学インターンシップⅡ【0】	
												機械設計学インターンシップⅠ(MD)【0】			
												機械設計学インターンシップⅡ(MD)【0】			
	2. 設計・製図			機械製図法Ⅰ【0】	機械製図法Ⅱ【0】	応用機械設計【0】	創造設計製図演習【0】			機械システム安全設計論(MD)【2】	伝動装置設計論(MD)【2】				
					機械設計学【0】						ストラテジックデザイン論(MD)【0】				
	3. 工業力学			工業力学Ⅰ【0】	工業力学Ⅱ【0】					工業解析力学(MP)【2】					
	4. 計算力学			データサイエンス【0】	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基礎学【0】	計算力学【0】					計算流体力学(MP)【2】				
3. 熱・流体力学	1. 流体力学			流体力学Ⅱ及び演習【0】	流体力学Ⅰ及び演習【0】		流体力学Ⅲ【0】			気体分子運動論(MP)【2】	流体エネルギー変換論(MP)【2】			計算流体論【2】	
											流体工学特論(MP)【2】				
	2. 熱力学			熱力学Ⅰ及び演習【0】	熱力学Ⅱ及び演習【0】	熱ｴﾈﾙｷﾞｰ輸送現象【0】	熱力学Ⅲ【0】			熱ｴﾈﾙｷﾞｰ変換工学(MP)【2】					エネルギシステム論【2】
										反応性熱流体力学(MP)【2】					
										熱伝達論(MP)【2】					
4. 材料・加工学	1. 材料力学			材料力学Ⅱ及び演習【0】	材料力学Ⅰ及び演習【0】		機械構造解析学【0】			理論応力解析学(MP)【2】				機素強度評価学【2】	
							材料力学Ⅲ【0】			数値固体力学(MP)【2】					
	2. 工業材料学			工業材料学【0】		材料強度学【0】					先端工業材料学(MD)【2】				機械材料強度論【2】
						塑性力学【0】									
	3. 加工学			機械加工法及び実習【0】	材料加工プロセス【0】	切削・研削加工学【0】	塑性加工学【0】			成形限界設計論(MD)【2】					機械材料加工論【2】
							特殊加工学【0】			先端材料加工学(MD)【2】					
										応用機械加工学(MD)【2】					
5. 計測・制御工学	1. 機械力学			機械力学Ⅰ及び演習【0】	機械力学Ⅱ及び演習【0】	防振システム工学【0】				非線形動力学(MP)【2】	知的構造システム学(MD)【2】				振動力学【2】
	2. 計測工学				計測基礎学【0】	工業計測法【0】				光・画像計測論(MD)【2】					エネルギシステム論(重複)【2】
										先端工業計測論(MD)【2】					
	3. 制御工学				システム制御理論【0】	ロボティクス【0】	最適制御システム【0】			ロボット制御論(MD)【2】	確率応用システム論(MD)【2】			システム制御論【2】	
							計画工学【0】				生産システム論(MD)【2】				
											最適化理論(MD)【2】				

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（デザイン・建築学課程，デザイン学専攻，建築学専攻分）

大分類　DA　デザイン・建築学課程

学士課程　4年

3　×

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000	
1. 総合共通科目	1. 基礎科学			（基礎解析Ⅰ）	（基礎解析Ⅱ）	（統計熱力学）	（環境化学）		
				（線形代数学Ⅰ）	（線形代数学Ⅱ）		（量子力学）		
				（統計数理）	（数学演習Ⅱ）				
				（数学演習Ⅰ）	（力学）				
				（物理学Ⅰ）	（物理学Ⅱ）				
				（化学Ⅰ）	（化学Ⅱ）				
				（生物学Ⅰ）	（生物学Ⅱ）				
	2. 広域教養科目	地域課題導入セミナー【0】	デザイン・建築表現演習【0】	プロジェクトマネジメント【0】	ものづくりの統計学【0】	庭園美学論【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】		
		ソーシャルインタラクションデザイン概論【0】	ソーシャルインタラクションデザイン演習【0】		情報処理演習【0】	地域創生課題セミナーⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】		
						ものづくりインターンシップⅡ【0】			
						ものづくりインターンシップⅢ【0】			
	3. 共通実習	デザイン・建築基礎実習【0】		（絵画実習）			デザイン経営工学事例研究【0】	デザイン・建築学演習【0】	
				（インターンシップA）					
				（インターンシップB）					
	4. 修了指導							卒業研究【0】	
								卒業プロジェクト【0】	
2. 建築計画論	1. 建築計画			建築計画Ⅰ【0】	建築計画Ⅱ【0】		住環境計画【0】		
							建築計画演習【0】		
	2. 建築史			近代建築史【0】	都市史Ⅰ【0】	都市史Ⅱ【0】	都市史Ⅲ【0】		
				西洋建築史【0】	日本建築史【0】				
				東洋建築史【0】					
	3. 建築論			景観論【0】		環境デザイン論【0】	都市・建築遺産論【0】		
				建築職能論【0】					
3. 建築技術論	1. 建築構造			建築構造力学Ⅱ【0】	建築構造力学Ⅰ【0】	建築構造設計学Ⅱ【0】			
				建築構造【0】	建築構造力学Ⅲ【0】	建築構造材料実験【0】			
					建築構造設計学Ⅰ【0】				
					造形材料【0】				
	2. 環境工学			環境調整Ⅰ【0】	環境調整Ⅱ【0】	建築環境工学演習【0】	空気調整設備【0】		
				建築設備【0】					
	3. 生産・法規			建築測量演習【0】	建築法規【0】		建築生産【0】		
4. 建築実習	1. 建築設計			建築設計実習Ⅰ【0】	建築設計実習Ⅱ【0】	建築設計実習Ⅲ【0】	建築設計実習Ⅳ【0】		
				建築設計製図Ⅱ【0】	建築設計製図Ⅰ【0】		建築設計製図Ⅲ【0】		
	2. 保存再生								伝統建築演習【0】
	3. 総合実習								
5. デザイン理論	1. デザイン論			製品技術論【0】	映像デザイン論【0】	室内意匠計画【0】	視覚形成論【0】		
				視覚デザイン論【0】	工業デザイン論【0】	ファシリティ経営論【0】	デザイン方法論【0】		
				コンピュテーショナルデザイン【0】			デザインマネジメント【0】		
				ファシリティ計画論【0】					
	2. 美術史・芸術論			日本美術史【0】	デザイン史【0】		現代芸術論【0】		
				感性論【0】	西洋美術史【0】	写真・映画論【0】			
	3. 美術館・博物館学				現代美術館学【0】	博物館概論【0】			
6. デザイン実習	1. デザインプロジェクト			プロジェクトデザインⅠ【0】	プロジェクトデザインⅡ【0】	プロジェクトデザインⅢ【0】	プロジェクトデザインⅣ【0】		
	2. 総合実習			デザインプラクティスⅠ【0】	デザインプラクティスⅡ【0】	デザインプラクティスⅢ【0】	デザインプラクティスⅣ【0】		
	3. 美術館・博物館演習								
7.エンジニアリング	1.講義			資源環境論【0】	エンジニアリング概説【0】	人間情報科学【0】	感覚工学【0】		
				生産工学【0】	材料工学【0】				
	2.演習・実習			CAD/CG実習【0】					
8.マネジメント	1.講義			マーケティング論【0】	企業経営学概論【0】	経営戦略論【0】	市場参入論【0】		
					会計・財務基礎【0】	事業企画論【0】			
	2.演習・実習								

留意事項1.　括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用されます。
2.　二重下線の科目は、春学期または秋学期のいずれかに開講する科目となります。
3.【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング

大分類　AR 建築学専攻, DS デザイン学専攻, CH 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻（修士課程　2年）／ 大分類　AR 建築学専攻, DSデザイン学専攻（博士課程　3年）

中分類名称コード	小分類名称コード	修士課程 2年 (3) 5000	5000	6000	6000	博士課程 3年 (3) 7000	7000
1. 総合共通科目	1. 基礎科学						
	2. 広域教養科目	都市デザイン(AR,CH)【2】			Development and Management of Local Wisdom and Global Technology(CH)【1】		
		建築デザイン(AR,CH)【2】					
	3. 共通実習			Semimar in Architecture Ⅰ(CH)【1】	Semimar in Architecture Ⅰ(CH)【1】		
				Semimar in Architecture Ⅱ(CH)【1】	Semimar in Architecture Ⅱ(CH)【1】		
				Semimar in Architecture Ⅲ(CH)【1】	Semimar in Architecture Ⅲ(CH)【1】		
	4. 修了指導			特別制作(AR,,CH)【2】		研究指導(AR,DS)【2】	
				特別研究(特定課題制作又は論文)(DS)【2】			
				研究指導(AR,DS,CH)【2】			
				Thesis(CH)【1】			
				Independent Study(CH)【1】			
2. 建築計画論	1. 建築計画			住環境設計マネジメント(AR,CH)【2】		建築・都市再生構想学(AR)【2】	
				地域設計プロジェクトⅠ(AR,CH)【2】	地域設計プロジェクトⅢ(AR,CH)【2】	保存再生設計学(AR)【2】	
				地域設計プロジェクトⅡ(AR,CH)【2】	地域設計プロジェクトⅣ(AR,CH)【2】	地域設計プロジェクト特論Ⅰ(AR)【2】	地域設計プロジェクト特論Ⅲ(AR)【2】
				Urban and Community Planning(CH)【1】	Urban and Community Planning(CH)【1】	地域設計プロジェクト特論Ⅱ(AR)【2】	地域設計プロジェクト特論Ⅳ(AR)【2】
				Principles and Practices in Urban Design(CH)【1】	Principles and Practices in Urban Design(CH)【1】		
	2. 建築史	建築史(AR,CH)【2】		建築保存再生技術(AR,CH)【0】			
		都市史(AR,CH)【2】		Selected Topics in Architectural History and Theory(CH)【1】	Selected Topics in Architectural History and Theory(CH)【1】		
				Advanced Professional Practices(CH)【1】	Advanced Professional Practices(CH)【1】		
				Theory and Philosophy in Vernacular Architecture(CH)【1】	Theory and Philosophy in Vernacular Architecture(CH)【1】		
				Research Approaches in Vernacular Architecture(CH)【1】	Research Approaches in Vernacular Architecture(CH)【1】		
				Dynamics of Vernacular Architecture(CH)【1】	Dynamics of Vernacular Architecture(CH)【1】		
	3. 建築論				Urban Archtecture(CH)【1】	伝統建築学(AR)【2】	
					Research Methodology in Architecture(CH)【1】		
				Advanced Specific Architectural Knowledge(CH)【1】	Advanced Specific Architectural Knowledge(CH)【1】		
				Critical Theories of Architecture(CH)【1】	Critical Theories of Architecture(CH)【1】		
				Critical Practices of Architecture(CH)【1】	Critical Practices of Architecture(CH)【1】		
3. 建築技術論	1. 建築構造			建築力学・構造特論(AR,CH)【2】			
				建築構造設計技術(AR,CH)【0】			
				Quantitative Research Methods in Architecture(CH)【1】	Quantitative Research Methods in Architecture(CH)【1】		
				Qualitative Research Methods in Architecture(CH)【1】	Qualitative Research Methods in Architecture(CH)【1】		
				Properties and Behaviors of Architectural Materials(CH)【1】	Properties and Behaviors of Architectural Materials(CH)【1】		
				Building Technology(CH)【1】	Building Technology(CH)【1】		
				建築構造設計マネジメント(AR,CH)【2】			
	2. 環境工学			建築環境・設備論(AR,CH)【2】			
				建築設備設計技術(AR,CH)【0】			
				Architectural Technology and Sustainable Environment(AR,CH)【1】			
				Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design(CH)【1】	Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design(CH)【1】		
				Environmental Perception and Assessment(CH)【1】	Environmental Perception and Assessment(CH)【1】		
				Selected Topics in Environment and Behavior(CH)【1】	Selected Topics in Environment and Behavior(CH)【1】		
	3. 生産・法規			都市・地域設計マネジメント(AR,CH)【2】			
				安心安全デザイン技術(AR,CH)【0】			
				Architectural Management(CH)【1】	Architectural Management(CH)【1】		
				Environmental Perception and Assessment			
4. 建築実習	1. 建築設計			国際設計プロジェクトⅠ(AR,CH)【0】	国際設計プロジェクトⅢ(AR,CH)【0】	建築設計プロジェクトⅠ(AR)【0】	
				国際設計プロジェクトⅡ(AR,CH)【0】	国際設計プロジェクトⅣ(AR,CH)【0】	建築設計プロジェクトⅡ(AR)【0】	
				Graduate Design Studio in Architecture Ⅱ(CH)【1】	Graduate Design Studio in Archtecture Ⅰ(CH)【1】	建築設計プロジェクト特論Ⅰ(AR)【0】	建築設計プロジェクト特論Ⅲ(AR)【0】
				国際共同設計実習A(CH)【1】	Graduate Design Studio in Archtecture Ⅲ(CH)【1】	建築設計プロジェクト特論Ⅱ(AR)【0】	建築設計プロジェクト特論Ⅳ(AR)【0】
				国際共同設計実習A(CH)【1】	国際共同設計実習B(CH)【1】		
				Research for Architectural Design(CH)【1】	Research for Architectural Design(CH)【1】		
				建築設計実習(AR,CH)【1】			
				都市設計実習(AR,CH)【1】			
	2. 保存再生			都市・建築再生学演習Ⅰ(AR,CH)【0】		都市・建築再生学インターンシップⅠ(AR)【2】	
				都市・建築再生学演習Ⅱ(AR,CH)【0】		都市・建築再生学インターンシップⅡ(AR)【2】	
				建築都市保存再生プロジェクトⅠ(AR,CH)【2】	建築都市保存再生プロジェクトⅢ(AR,CH)【2】	都市・建築再生学特別演習Ⅰ(AR)【0】	
				建築都市保存再生プロジェクトⅡ(AR,CH)【2】	建築都市保存再生プロジェクトⅣ(AR,CH)【2】	都市・建築再生学特別演習Ⅱ(AR)【0】	
					Advanced Graduate Design Studio in Architecture(CH)【1】		
				Theory of Architecture in Asia(CH)【1】	Theory of Architecture in Asia(CH)【1】		
	3. 総合実習			建築設計実務実習Ⅰ(AR,CH)【0】		都市・建築設計インターンシップⅠ(AR)【0】	
				建築設計実務実習Ⅱ(AR,CH)【0】		都市・建築設計インターンシップⅡ(AR)【0】	
				建築設計実務実習Ⅲ(AR,CH)【0】			
				都市・建築空間研究A(AR,CH)【0】	都市・建築空間研究B(AR,CH)【0】		
				建築設計学インターンシップⅠ(AR)【0】			
				建築設計学インターンシップⅡ(AR)【0】			
				建築設計学特別講義Ⅰ(AR,CH)【2】	建築設計学特別講義Ⅲ(AR,CH)【2】		
				建築設計学特別講義Ⅱ(AR,CH)【2】	建築設計学特別講義Ⅳ(AR,CH)【2】		
				Specific Research in Architecture Ⅰ(CH)【1】	Specific Research in Architecture Ⅰ(CH)【1】		
				Specific Research in Architecture Ⅱ(CH)【1】	Specific Research in Architecture Ⅱ(CH)【1】		
				建築都市再生学特別講義Ⅰ(AR,CH)【2】	建築都市再生学特別講義Ⅲ(AR,CH)【2】		
				建築都市再生学特別講義Ⅱ(AR,CH)【2】	建築都市再生学特別講義Ⅳ(AR,CH)【2】		
				Special Problem(CH)【1】	Special Problem(CH)【1】		
5. デザイン理論	1. デザイン論	デザイン学特別講義A(DS)【0】	デザインとマネジメント(DS)【2】			プロジェクトデザイン論(DS)【2】	機能デザイン論(DS)【2】
			人と場(DS)【2】				
			伝統文化とデザイン(DS)【2】				
			デザインと技術(DS)【2】				
			デザイン学特別講義B(DS)【0】				
	2. 美術史・芸術論		キュレーションとメディア(DS)【2】			芸術学・芸術史論(AR,DS)【2】	近現代美術史論(AR,DS)【2】
			映像と感性(DS)【2】			芸術批評論(DS)【2】	
	3. 美術館・博物館学		展示と空間(DS)【2】			芸術展示論(DS)【2】	
6. デザイン実習	1. デザインプロジェクト			アドバンストデザインプロジェクトⅠ(DS)【2】		イノベーションデザインプロセス演習A(DS)【0】	イノベーションデザインプロセス演習B(DS)【0】
				アドバンストデザインプロジェクトⅡ(DS)【2】			
				プロジェクトデザインA(DS)【2】	プロジェクトデザインB(DS)【2】		
	2. 総合実習		ソーシャルインタラクションデザイン(DS)【2】	フィジカルインタラクションデザイン(DS)【2】		デザイン学特別演習Ⅰ(DS)【0】	
				グローバルイノベーションプログラムⅡ(AR,DS)【2】	グローバルイノベーションプログラムⅠ(AR,DS)【2】	デザイン学特別演習Ⅱ(DS)【0】	
				デザイン学インターンシップⅠ(DS)【0】		デザイン学インターンシップⅢ(DS)【0】	
				デザイン学インターンシップⅡ(DS)【0】		デザイン学インターンシップⅣ(DS)【0】	
				デザイン学特別演習A(DS)【2】	デザイン学特別演習B(DS)【2】	デザイン学高度特別演習A(DS)【0】	
				デザイン学実務実習(DS)【0】		デザイン学高度特別演習B(DS)【0】	
				dCEPセッション(M)Ⅰ(AR,DS)【1】	dCEPセッション(M)Ⅲ(AR,DS)【1】	デザイン学高度実務実習(DS)【0】	
				dCEPセッション(M)Ⅱ(AR,DS)【1】	dCEPセッション(M)Ⅳ(AR,DS)【1】	価値創造学高度実務実習(DS)【0】	
						dCEPセッション(D)Ⅰ(AR,DS)【1】	dCEPセッション(D)Ⅲ(AR,DS)【1】
						dCEPセッション(D)Ⅱ(AR,DS)【1】	dCEPセッション(D)Ⅳ(AR,DS)【1】
	3. 美術館・博物館演習				キュレーション資料演習(DS)【2】	価値創造学特別演習Ⅰ(DS)【0】	
					キュレーション購読演習(DS)【2】	価値創造学特別演習Ⅱ(DS)【0】	
					キュレーション実地演習(DS)【2】	価値創造学インターンシップⅠ(DS)【0】	
					キュレーション実務実習(DS)【2】	価値創造学インターンシップⅡ(DS)【0】	
						国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(DS)【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(DS)【2】
7.エンジニアリング	1.講義		ヒューマンファクターとテクノロジー(DS)【2】				
			テクノロジーと文化(DS)【2】				
	2.演習・実習						
8.マネジメント	1.講義		市場とイノベーション(DS)【1】		企業経営管理と社会(DS)【0】		
			ビジネスと社会(DS)【2】				
	2.演習・実習						

大分類　ED 設計工学専攻（博士課程　3年）

中分類名称コード	小分類名称コード	3 7000	7000
1.総合	1.概論・基礎		
	2.事例研究		
	3.演習・実習	設計工学特別演習Ⅰ【0】	
		設計工学特別演習Ⅱ【0】	
		設計工学インターンシップⅠ【0】	
		設計工学インターンシップⅡ【0】	
		価値デザイン特別演習Ⅰ【0】	価値デザイン特別演習Ⅱ【0】
		価値デザイン特別演習Ⅲ【0】	
		国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】
			国際科学技術特別演習Ⅲ【2】
		研究指導【2】	
2.デザイン	1.講義	デザインマネジメント論【2】	
	2.演習・実習	デザインマネジメント論【2】	
3.エンジニアリング	1.講義	デザイン基礎工学【2】	
		価値デザインインターンシップ【0】	
	2.演習・実習		
4.マネジメント	1.講義		デザイン経営学【2】
	2.演習・実習		

令和3年度 科目ナンバリング分類表 （先端ファイブロ科学専攻）

		大分類 なし				大分類 AF 先端ファイブロ科学専攻				大分類 AF 先端ファイブロ科学専攻	
		学士課程 4年				修士課程 2年				博士課程 3年	
		3			×	3			×	3	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000		6000		7000	
1. テキスタイル	1. サイエンス					テキスタイルサイエンス【2】		テキスタイルメカニクス【2】		応用テキスタイルサイエンスⅠ【2】	応用テキスタイルサイエンスⅡ【2】
								先端テキスタイル加工-仕上げ【1】	バイオテクノロジー【1】		
								テキスタイルとナノテクノロジー【1】	テキスタイルの快適性と数理評価【1】		
	2. エンジニアリング						テクニカルテキスタイル【2】	テキスタイルデータサイエンス【2】	テキスタイルの快適性と数理評価【2】		
							感性とテキスタイル設計【2】	環境・運動生理学とバイオメカニクス【2】	テキスタイル分析化学【2】		
							プラスチック産業概論【2】	先端テキスタイル加工-機械 Ⅰ【1】	自動化と工程管理【1】		
								先端テキスタイル加工-機械 Ⅱ【1】	衣服の縫製技術【1】		
								先端テキスタイル加工-機械 Ⅲ【1】	衣服の革新的製造と既製品産業における技術的応用【1】		
									インテリジェントテキスタイル【1】		
	3. 成形加工・コンポジット							テキスタイルケミストリー【0】	テキスタイルエレクトロニクス【0】	応用マテリアルサイエンス【2】	
								コンポジット設計【2】	テクニカルテキスタイルの応用Ⅰ【1】		
									テクニカルテキスタイルの応用Ⅱ【1】		
									テクニカルテキスタイルの製造技術【1】		
	4. マネジメント							マネジメント・物流・流通 Ⅰ【1】	マネジメント・物流・流通 Ⅱ【1】	応用マテリアルサイエンス【2】	
2. 先端ファイブロ科学	1. インターンシップ							先端ファイブロ科学シナジーⅠ【2】	先端ファイブロ科学シナジーⅡ【0】	先端ファイブロ科学特別シナジーⅠ【2】	
								先端ファイブロ科学インターンシップⅠ【0】		先端ファイブロ科学特別シナジーⅡ【0】	
								先端ファイブロ科学インターンシップⅠ【0】		先端ファイブロ科学インターンシップⅢ【0】	
								国際インターンシップ【2】		先端ファイブロ科学インターンシップⅣ【0】	
	2. セミナー							スタートアップセミナー【2】	スタートアップセミナー【2】		先端ファイブロ科学特別セミナーⅠ【2】
									先端ファイブロ科学セミナーⅠ【2】		先端ファイブロ科学特別セミナーⅡ【2】
									先端ファイブロ科学セミナーⅡ【2】		
	3. 実験・演習							先端ファイブロ科学特別実験及び演習Ⅰ【0】	先端ファイブロ科学特別実験及び演習Ⅱ【0】	先端ファイブロ科学特別演習Ⅰ【0】	
								先端ファイブロ科学特別実験及び演習Ⅲ【0】	先端ファイブロ科学特別実験及び演習Ⅳ【0】	先端ファイブロ科学特別演習Ⅱ【0】	
								特別研究【2】		研究指導【2】	
								特別課題実験及び演習Ⅰ【0】	特別課題実験及び演習Ⅱ【0】		
								特別課題実験及び演習Ⅲ【0】	特別課題実験及び演習Ⅳ【0】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	
								国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	
								国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】	国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】		
								先端ファイブロ科学特別実験及び演習【1】			
3. 人間工学・コミュニケーション	1. 感性							Kansei-Human設計【2】	科学的思考【1】		Kansei-Human応用設計【2】
	2. コミュニケーション								国際コミュニケーション演習【1】		国際コミュニケーション特別演習Ⅰ【1】
											国際コミュニケーション特別演習Ⅱ【1】
4. サステナビリティ・科学技術	1. 持続可能性							サスティナブルテキスタイル設計【2】			サステナビリティ応用設計【2】
	2. 科学技術（外部）							社会の中の科学技術Ⅰ【2】	社会の中の科学技術Ⅱ【2】	社会の中の科学技術戦略【2】	
								社会の中の科学技術Ⅲ【2】			
								先端ファイブロ科学特別講義【2】		先端ファイブロ科学特論Ⅰ【2】	先端ファイブロ科学特論Ⅱ【2】

※1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

2. 【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表 （バイオベースマテリアル学専攻）

	大分類　なし				大分類　BM　バイオベースマテリアル学専攻				大分類　BM　バイオベースマテリアル学専攻	
	学士課程　4年				修士課程　2年				博士課程　3年	
	3			×	3			×	3	

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000		6000		7000	
1. 実習	1. スタートアップ							スタートアップセミナー【2】	スタートアップセミナー【2】		
	2. セミナー							バイオベースマテリアル学国際セミナー【1】 産学連携セミナー【0】	バイオベースマテリアル学セミナー【0】		
	3. インターンシップ							バイオベースマテリアル学インターンシップⅠ【0】 バイオベースマテリアル学インターンシップⅡ【0】	国際インターンシップ【1】	バイオベースマテリアル学インターンシップⅢ【0】 バイオベースマテリアル学インターンシップⅣ【0】	
	4. 実験・演習							バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅰ【0】 バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅲ【0】 特別研究【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅱ【0】 バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅳ【0】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	バイオベースマテリアル学特別演習Ⅰ【0】 バイオベースマテリアル学特別演習Ⅱ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	
2. バイオベースマテリアル化学	1. 高分子化学					バイオベースポリマー【2】					バイオベースマテリアル化学【2】
	2. 立体化学						生体分子立体化学【2】				
	3. 医用材料						バイオメディカル化学【2】				
	4. 色彩科学						バイオカラーサイエンス【2】				
3. バイオベースマテリアル材料学	1. 多糖系材料						バイオ機能材料【2】			材料機能制御学【2】	
	2. ナノ構造					ナノ材料構造【2】	ナノ材料物性【2】				材料機能構造相関【2】
	3. ナノ繊維形成					バイオナノファイバー【2】 テキスタイルサイエンスⅠ【2】				ケモバイオロジー【2】 ナノファイバーテクノロジー【2】	
4. バイオベースマテリアル生物工学	1. バイオリファイナリー					生物資源システム工学ー【2】	環境資源科学【2】				
	2. 動物系機能物質								タンパク質機能構造【0】	応用タンパク質工学【2】	
	3. 植物系機能物質							植物機能工学【0】			

留意事項1.【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

2.　下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（教職関係科目分）

大分類　TP　教職関係科目

学士課程　4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 教職の意義等			現代教師論【0】
2. 教育の基礎理論	1. 教育の理念・歴史・思想	教育原論【0】	
	2. 生徒の心身の発達と学習の過程		教育心理学【0】
	3. 教育に関する社会・制度及び経営的事項	教育社会学【0】	
	4. 特別の支援を必要とする生徒に対する理解		特別支援教育【0】
3. 教育課程及び指導法	1. 教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論【0】	
	2. 各教科の指導法	数学教育法ⅠA【0】	数学教育法ⅠB【0】
		数学教育法ⅡA【0】	数学教育法ⅡB【0】
		理科教育法ⅠA【0】	理科教育法ⅠB【0】
		理科教育法ⅡA【0】	理科教育法ⅡB【0】
		情報教育法Ⅰ【0】	情報教育法Ⅱ【0】
		工業教育法【0】	
	3. 道徳の指導法		道徳教育の理論と実践【0】
	4. 特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法【0】	
	5. 教育の方法及び技術		教育方法論【0】
			視聴覚教育概説【0】
4. 生徒指導・教育相談・進路指導等	1. 生徒指導の理論・方法	生徒指導【0】	
	2. 教育相談・進路指導の理論・方法	教育相談・進路指導論【0】	
5. 演習・実習	1. 演習		教育実践演習(中・高)【0】
	2. 実習	教育実習Ⅰ【0】	
		教育実習Ⅱ【0】	
		教育実習Ⅲ【0】	
6. 教科に関する科目(工業)	1. 職業指導	職業指導Ⅰ【0】	職業指導Ⅱ【0】

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業
（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

令和3年度　科目ナンバリング分類表（学芸員資格科目分）

大分類　CU　学芸員資格科目

学士課程　4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 学芸員資格に必要な科目	1. 生涯学習及び社会教育の意義・特性等	生涯学習概論【0】	
	2. 博物館に関する基礎	(博物館概論)	
	3. 博物館の管理・経営	博物館学Ⅰ【0】	
	4. 博物館の資料	(文化財学)	
	5. 博物館資料の保存	文化財保存科学【0】	
	6. 博物館の展示機能		博物館学Ⅱ【0】
	7. 博物館教育の理論・実践と方法	教育学概論【0】	
			博物館教育論【0】
	8. 博物館の情報の提供・活用等		博物館情報・メディア論【0】
	9. 博物館の実習	博物館実習【0】	
2. その他			(デザインマネジメント)
		(京の産業技術史)	

留意事項・ 括弧書きの科目は人間教養科目または課程専門科目であり、元の大分類から始まるナンバリングが適用される。

※【　】の中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

0：日本語で行う授業
1：英語で行う授業
2：受講者に応じて日本語または英語で行う授業
（状況に応じて使用言語を変更する）
3：英語以外の外国語で行う授業
4：その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）